

情報通信審議会 情報通信技術分科会
新世代モバイル通信システム委員会（第30回）

— 議事概要 —

1 日時

令和6年6月20日（木）14:00～14:30

2 場所

Web会議

3 出席者（敬称略）

(1) 委員等

森川 博之、三瓶 政一、高田 潤一、大岸 裕子、上村 治、河東 晴子、児玉 俊介、辻ゆかり、町田 奈穂、宮田 純子、三好 みどり、山本 祐司、渡辺 望

(2) オブザーバ

福本 晓（株式会社NTTドコモ）

(3) 総務省

小川 裕之（移動通信課長）、

入江 晃史（移動通信課企画官）、赤川 達也（移動通信課課長補佐）、

平野 裕基（移動通信課課長補佐）、高木 世紀（移動通信課 計画係長）

4 議題

(1) 委員会報告（案）「ローカル5Gの海上利用に係る技術的条件等」に対する意見募集の結果について

事務局から、資料30-1（委員会報告（案）概要「ローカル5Gの海上利用に係る技術的条件等」に帶する意見募集の結果と意見に対する考え方（案））に基づき説明がなされ、質疑応答がなされた。

大岸専門委員：人体やセキュリティなど意見が出されている中で、丁寧にご対応頂き感謝。また、海上利用は重要なインフラとなり得るが、一般の人たちには伝わりにくい。一般の人に裨益していることを示してほしい。

河東専門委員：「全般に関する御意見」と「その他のご意見」はどのように分けたのか。

事務局：基本的には報告案自体に反対等のご意見を表明されているものは

「全般に関する御意見」、報告案に対しての賛否が不明であって、5Gの人体への影響等に対して言及をされているものに関して「その他のご意見」にまとめている。

特段の修正意見はなかったため、案のとおり委員会の考え方（資料30-1）及び委員会報告（資料30-2及び資料30-3）を取りまとめ、委員会報告については情報通信技術分科会に答申案件として諮ることになった。

（2）第5世代移動通信システム（5G）の高度化に関する技術的検討について

事務局から、資料30-4（第5世代移動通信システム（5G）の高度化に関する技術的検討）に基づき説明がなされ、質疑応答がなされた。

児玉専門委員：eRedCapはRedCapと比べさらに機能を制限したものと示されているが、今回の検討ではRedCapとeRedCap両方の技術的条件を定めるという理解でよいのか。eRedCapの中にRedCapが含まれている形でRel.18が出ているのか。

事務局：RedCapとeRedCapは、それぞれ別の仕様がある。具体的には、eRedCapの方がより狭い周波数帯域幅まで定義しているなどの違いがある。技術的条件をどのように定めるかは、作業班で議論を深める。

児玉専門委員：eRedCapの「e」は「enhanced」とのことなので、「さらに機能を制限した」という日本語に違和感がある。eRedCapは機能が制限されているが何かがenhancedされているという理解か。

事務局：帯域幅を制限することで、よりIoT向きの機能を強化したというような趣旨だと認識しているが、3GPPで用語についてどのような議論があったかは、細かくは承知していない。表現についても、作業班で議論を行いたい。

（3）その他

事務局から、次回会合については改めて連絡する旨報告があった。

以上